

日南町議会議員 村上 正広様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 町民が安心して暮らせる健康なまちづくりについて</p> <p>①「3年後に検診受診率80%を目指す」との目標値を設定された。目標数値の算定基礎と目標数値達成に向けたフォローをどのようにされるのかを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①</p> <p>【目標数値の算定基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40～69歳を対象とした受診率を評価指標とする。がん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診）受診率の平均は2018年度46%である。 ・ 目標値：2019年度：60%、2020年度：70%、2021年度80%とする。 <p>【目標達成に向けた取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルテレビ、広報、健康教育等で啓発 ・ 受診券送付を継続、個別受診勧奨を強化 ・ 県の受診勧奨事業を活用 ・ 検診自己負担金無料を継続 ・ 胃がん検診の医療機関委託を拡大（日南病院で胃内視鏡検診を開始） ・ セット検診（集団検診）、休日検診を継続
<p>2. 外国人材交流事業について</p> <p>①昨年5月視察時に、前増原町長とモンゴルのゾーンモド町長との口頭約束された2件で、一つは日本語学級に日本語の辞書等を昨年9月に送られた。もう一つの消防自動車を送る件は、どのようにされるのかを伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①ゾーンモド町は、日南町が輸送費を含めて消防自動車の寄贈をしてくれるのであれば受け入れたいとの意向を確認している。町としては、交流の礎として寄贈に向けた準備を進めているが、贈呈式をどうするかなど詳細についてゾーンモド町の意向を確認しているところ。</p>
<p>3. 環境問題について</p> <p>①セントラル農場の排水問題について、今後どのように対応されるのかを伺う。</p>	<p>3.</p> <p>①水質検査は継続実施し地元とデータを共有するとともに、町は事業者と定期的に情報交換を行う。また、意見交換会で情報提供を行う。</p>
<p>4. 老朽化危険家屋等について</p> <p>①建築物の老朽度・危険度判定基準のDラン</p>	<p>4.</p> <p>①Dランク（判定基準点150点以上）に該当す</p>

<p>ク、いわゆる「倒壊の危険性があり、解体などの緊急度が高い」判定基準点150点以上の建築物が、現在何件あるのか、今後どのように取り組んで行くのかを伺う。</p>	<p>る空き家は 38 件であり、解体撤去補助金や固定資産税減免制度の利用を勧奨する。</p>
--	---

日南町議会議長 村上 正広様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 (要旨を箇条書きしてください)
<p>1. 農業施策について</p> <p>①多面的機能支払い制度の組織広域化が推進されているが、現在の進捗状況と広域化された組織での活動開始の予定、今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>②広域化された組織の事務体制は。</p> <p>③既存の集落営農組織も高齢化、後継者不足が深刻で離農農地の受け手不足が顕著である。10年先を見据えた農業施策、農地維持に向けた見解を伺う。</p> <p>2. 観光行政について</p> <p>①観光協会が一般社団法人化されたが、その意義と体制は。</p> <p>②旧木下家の活用について、単発的なイベント開催でなく、将来を見据えた活用内容は具体的に検討されているか。 阿毘縁地区住民の参画を諮られているか、又日南町民の参画を求められる考えは。</p> <p>3. 結婚対策について</p> <p>①仲人奨励制度を復活され、報奨金交付要綱(案)が示された、その目的は結婚を促進することにより、定住促進と少子化の解消とあるが、交付対象者は日南町に住所を有する者に限定</p>	<p>1.</p> <p>①37組織中20組織が広域化に賛成。3月12日に、1回目となる組織代表者の会議を行う。</p> <p>②農林課で担う。</p> <p>③人・農地プランの実質化と農地中間管理事業による担い手への農地集積と集約化の推進を図るとともに、新規就農者の支援システムを確立する。</p> <p>2.</p> <p>①法人格が備わり、協会自身による財産取得が可能になったこと、責任の所在が明らかになることで信用が増し、活動の幅が格段に広がる。体制について、役員は留任いただき、事務局は協会職員3名と町職員1名があたり、法人の事業として町からの委託事業等を行う。</p> <p>②古民家の魅力を活かしたイベント・宿泊・飲食施設等としての利用を検証するため様々なモニター企画に取り組んでいる。これらの企画にはスタッフ・参加者として阿毘縁住民をはじめ町民の方々に参画いただいている。今後は企画段階から地元の方々に参画いただけるようむら協と連携を図りたい。</p> <p>3.</p> <p>①本制度の目的は、結婚を促進することによる定住の推進、つまりは人口の増加を第1義としている。まずは仲人される方自らが日南町民として牽引いただくことにより、長く定住いた</p>

<p>されているのはなぜか伺う。</p> <p>4. 公共交通・おでかけタクシー助成について</p> <p>①公共交通の運行にあたって、列車ダイヤとの接続を求める声を聞くが、ダイヤ改正の検討課題として考えられているか。</p> <p>②おでかけタクシーチケットについて、町外への利用状況及び各地域別の利用状況（直近の利用データによる利用人数・利用チケット枚数）を伺う。</p>	<p>く一助となっていたいただきたい思いによる。</p> <p>4.</p> <p>①平成 27 年度の調査報告を踏まえ、町営バスと JR のダイヤ接続を意識した改正を平成 29 年 4 月 1 日に行った。今後も利用者の声を尊重したダイヤ設定に努めたい。なお町営バスのダイヤ改正は平成 31 年 10 月 1 日を予定。</p> <p>②平成 30 年度の利用状況は、平成 31 年 2 月 15 日現在、町外への利用者数は 63 人、町外からの利用者数は 31 人。各地域別の利用状況は日野上が 1,887 人、5,291 枚の利用、山上が 315 人、2,056 枚の利用、大宮が 213 人、1,415 枚の利用、阿毘縁が 34 人、380 枚の利用、多里が 300 人、2,269 枚の利用、石見が 857 人、4,061 枚の利用、福栄が 274 人、1,662 枚の利用。合計では延べ 3,895 人、17,135 枚の利用となっている。タクシーチケット事業を含む公共交通の見直しについて関係機関や町公共交通確保対策協議会での協議を継続し、見直しも含めて検討していく。</p>
--	---

日南町議会議長 村上 正広様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 学校給食費の無償化について</p> <p>①文部科学省は昨年(平成30年7月)に、平成29年度の「学校給食費の無償化等の実施状況」および「完全給食の実施状況」の調査結果について発表した。</p> <p>全国1,740自治体の公立小中学校で小学校・中学校とも無償化を実施している自治体が全体として漸増する傾向にある。</p> <p>鳥取県内でも伯耆町や大山町など一部補助を実施している自治体がある。</p> <p>財源は約1,100万あれば可能なので、子育て支援の充実をすすめるために、日南町でも無償化の実現を求めたい。</p>	<p>1.</p> <p>①給食費の無償化や一部助成については、様々な観点から協議し、引き続き議論を行っていきたい。</p>
<p>2. 自転車活用推進法について</p> <p>①平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行された。本年企画課がサイクリングイベントを実施する予定であるが、日南中学校も自転車通学を推進したら健康的でいいと思うが。</p>	<p>2.</p> <p>①日南中学校で自転車通学を指定することは難しい。安全な通学方法を協議していく。</p>
<p>3. 国民健康保険税について</p> <p>①被保険者1人当たりの国民健康保険税は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1.3倍、大企業の労働者が加入する組合健保の1.7倍である。全国知事会、全国市長会、全国町村会などの地方団体はこうした問題を解決するために1兆円の公費投入増の財政投入により国保税を協会けんぽの保険料並みに引き下げを求めている。</p> <p>日南町の国保税も県内でも高い。とりわけ資産割、均等割、平等割の税率を再検討して所得割</p>	<p>3.</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の特色は応益分の均等割や平等割を抑えている。 ・所得での変動が少ない税体系としている。 ・国保の一元化の目指す将来像である、県内の保険税統一に向けた議論とともに検討が必要。

<p>におもきを置くべきだと考えるが。</p> <p>4. 消費税 10%増税について</p> <p>①町長の施政方針説明で、10月から消費税が10%に増税されるが、水道料金・下水道料金の据え置きを表明されたことを評価する。増税にともなう公共施設の利用料金などはどう対応するのか。</p> <p>②増税による町の実質負担増はどのように試算されているか。</p> <p>5. 日南福祉会の経営について</p> <p>①日南福祉会は平成 27 年度～平成 30 年度の 4 年間、あかねの郷建設費の起債償還に係る負担額が赤字決算のため、次年度以降に繰り延べされている。日南福祉会の負担総額は約 7 億 5 千万円であり経営圧迫の要因となっている。日南福祉会と負担額の在り方について協議されたい。</p> <p>②今年度から新たに町単独で中山間地域介護サービス確保対策事業が創設され事業者に介護報酬基本単位の 20%を助成し、1 千万円の予算が計上された。また訪問系サービスの自己負担を利用者にも助成される。</p> <p>鳥取県として制度を確立するようにぜひ要求を上げられたい。</p>	<p>4.</p> <p>①住民負担軽減の観点から公共施設の利用料金についても据え置きとする。</p> <p>②平成 31 年度予算における実質負担増は 48,600 千円程度と捉えている。</p> <p>5.</p> <p>①日南福祉会には、施設使用料相当額として起債償還額の負担を求めているが、決算状況により協議することとしている。近年は運営状況が厳しく、負担を求めない判断が続いている。今後も、運営状況に照らして協議することとしたい。</p> <p>②鳥取県長寿社会課に制度についての情報提供はしている。新制度を運用したのちに県助成について協議したい。</p>
---	---

日南町議会議員 村上 正広様

日南町長 中村 英明

村上 正広議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 日南町の将来について 財源確保対策は。</p> <p>① 地方交付税は現状の金額を確保できるか。 2020年に国勢調査が実施され著しい変更がありはしないのか。</p> <p>② ふるさと納税のあり方について 施政方針説明では3年で10倍の1億円を目標に掲げられたが具体策は。</p> <p>③ 町有林のあり方について 現在2,278haを越す面積を保有しているが資産としてのあり方。分収造林のあり方、山林の寄付採納の取り扱い方法はどうか。</p> <p>2040年対策は。</p> <p>① 本町の人口構成は60代80代70代と続くが高齢化率50.5%を超え自然減で100人程度。対応策は。</p> <p>② 増田レポートに続いて総務省でも2040年問題が議論され始めたが消滅自治体の候補にある日野郡三町の行く末は、中心市構想が新聞紙上で報道されているが政府勸奨による合併に進む可能性がありはしないのか。</p>	<p>1. 財源確保対策は</p> <p>① 2020年国勢調査による人口が地方交付税に算定されるのは、2021年度交付税からとなる。人口減少による減額は避けられないが、日本全体の人口も減少傾向にあるため、一定の額は確保が出来るものと想定している。今後もより緩やかな人口減少（創造的過疎）の取組と併せて予算規模の適正化が重要となる。</p> <p>② 現在のふるさと納税制度では高額寄附を望むことは難しいため、より多くの寄附者に日南町を選んでいただくことが重要。そのためインターネット等を活用し積極的に日南町のPRに努め、尚且つより魅力的な返礼品の開発及び数量確保に向けた取組を進める。</p> <p>③ 第2期町有林経営計画に基づき、健全な管理に努める。分収造林のあり方については、地権者と協議のうえ、山林の寄附採納については、寄附採納事務取扱基準及び山林寄附採納の手引きに基づき対処する。</p> <p>2040年対策は</p> <p>① コンパクトビレッジ構想の下、緩やかな人口減を目指すとともに、施政方針で示した「しごと・まち・ひと」の3つを町政運営の柱として取り組むたい。</p> <p>② 国は平成の大合併以降、基礎自治体はそのままに、中心市と周辺市町村が事務事業を連携調整する「定住自立圏構想」などの広域行政を推進している。政府勸奨による合併の可能性は今のところ不透明であるが、今後国の動きを見な</p>

<p>③県内5国保病院のあり方について（岩美、智頭、西伯日野、日南）西部3病院の持続可能なあり方が急務と思うが取り組み方法は。</p> <p>④日野高校は郡内の生徒の進学が10～15人程度であり今後の取り組み具体策は。</p>	<p>がら広域的枠組みでの事業連携を図って行きたい。</p> <p>③日南病院規模をダウンサイジングせざるを得ないが、今後も入院ベッドを使って地域医療を継続する。病院連携・再編統合について県議会で議論があるが、今後の検討課題である。</p> <p>④今後、日野高校魅力向上推進協議会で検討しながら進めていく。</p>
---	--